

文化交流・外交をイランサイドから解きほぐす注目の書

歴史の歩みにおけるイランと日本

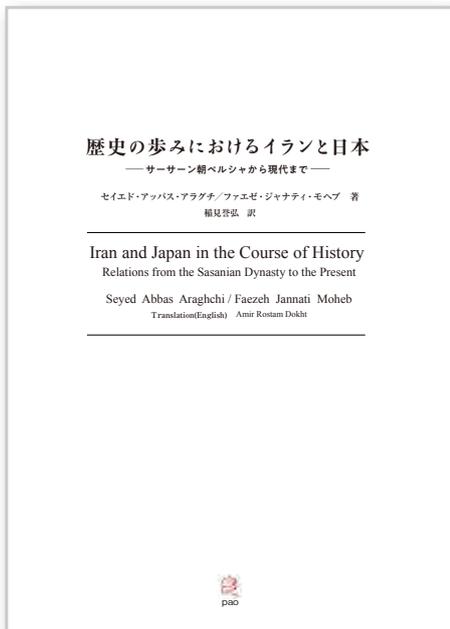
—— サーサーン朝ペルシャから現代まで ——

英語版 Iran and Japan in the Course of History ペルシア語版 ایران و ژاپن در مسیر تاریخ

トランプ・ネタニヤフの「力の脅迫」を手玉にする鮮やかな外交。世界が注目するイラン、アラグチ外相直筆の日本関係史。サーサーン朝ペルシアから現代に至る文化交流・外交をイランサイドから解きほぐす注目の書。ペルシア語原文—日本語訳—英語訳の3言語を一冊に合本形式は、第一級言語資料。

セイエド・アッバス・アラグチ ファエゼ・ジャナティ・モヘブ 著 / 稲見誉弘 訳
ISBN978-4-906869-07-7 C0031 定価:本体3000円+税

A5版 上製本
本文160頁
2026年4月8日発行



セイエド・アッバス・アラグチ
Seyed Abbas Araghchi

سید عباس عراقچی

1962年テヘラン生まれ。1985年、外務省附属国際関係学院に入学。1989年、イラン・イスラム共和国外務省入省。1999年～2003年、駐フィンランド特命全権大使(エストニア兼任)。2004年～2005年、外務省附属国際関係学院院長。2008年～2011年、駐日特命全権大使。2013年、核交渉首席交渉官。2021年、外交関係戦略評議会書記。2024年、ペゼシュキアン内閣のもとでイラン・イスラム共和国外務大臣に就任。現在に至る。2022年、旭日重光章受章。駐日大使時代の回顧録に『イランと日本』(論創社、2024年)がある。



ファエゼ・ジャナティ・モヘブ
Faezeh Jannati Moheb

فائزه جنتی محب

1989年テヘラン生まれ。イラン・イスラム共和国外務省アジア・オセアニア総局の日本問題および韓国問題の専門官。イラン・イスラム共和国外務省三等書記官。文化外交、国際平和と安全保障、経済回廊開発の専門知識をもち、アジア、オセアニア関係に精通している。論文に「文化外交:制裁期間中のイラン・日本関係」(イラン外交評論、2017年夏・秋号)がある。

編集解説にアラグチ外相の最新の「パレスチナ問題」に関するスピーチ
(2026年2月7日アルジャズィーラ・フォーラム)を収録

ご注文申込書	番線印	ご担当： 様	歴史の歩みにおけるイランと日本 —— サーサーン朝ペルシャから現代まで —— セイエド・アッバス・アラグチ ファエゼ・ジャナティ・モヘブ 著 / 稲見誉弘 訳 発行元:株式会社 包(パオ) PAO CORPORATION 〒164-0003 東京都中野区東中野2-25-6 TEL 03-3361-2218 srlbunco@gmail.com URL http://www.paoco.jp ISBN 978-4-906869-07-7 C0031 定価:本体3000円+税
		ご注文数 冊	

ご注文はJRCへ FAX 03-3294-2177

すべての取次からご注文は可能です(JRC経由)。返品は長期に承ります。